

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年12月22日

計画の名称	枚方市における快適な公園・緑地空間の創出（その2）												
計画の期間	平成29年度～令和02年度（4年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	枚方市												
計画の目標	<p>枚方東部地区に自然と調和したスポーツ機能を備えた公園の整備を行い、東部地域の魅力を高め、市民スポーツ活動の活性化と緑の創出を行う。また大規模災害発生時には、京奈和自動車道や第二京阪道路、国道1号等に接続する国道307号の沿道に存する利点等を活かし、後方支援活動拠点等として活用することを想定している。（東部公園）</p> <p>枚方市中部地区、南部地区に緑の拠点となる公園の整備を行い、住宅密集地にあり広域避難地である淀川河川公園を補完する一時避難地として利用できる公園とする。（星ヶ丘公園、中振中央公園）</p> <p>公園施設長寿命化計画に基づき適切に維持管理されている公園施設の改築を実施し、都市公園の適正な管理による公園利用者の安心・安全の確保や公園施設に係るトータルコストの低減を図っていく。（公園施設長寿命化対策支援事業）</p> <p>枚方市北楠葉地区に一時避難地への避難路の確保や密集市街地における延焼防止を図るための緑道とする。（天満川緑道）</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	936	A	936	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R2末)
1	一人当たりの公園面積（用地取得後、公園整備が可能となる面積を含む。）を増やす。 一人当たりの公園面積（用地取得後、公園整備が可能となる面積を含む。）	5㎡/人	5㎡/人	5㎡/人
2	都市公園施設の改築、更新を実施し、公園利用者の安全確保と公園機能の保全を図る。公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を行い、改築が必要な公園施設の割合を5%から9%にする。 公園施設の改築等工事の達成率 = (改築を実施した施設数) / (改築が必要な施設数) × 100	5%	7%	8%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
H28 : 215.66ha/404939人 = 5.32㎡/人 H31 : 219.41ha/404939人 = 5.41㎡/人 R2 : 219.64ha/404939人 = 5.42㎡/人 定量的指標の現況値及び目標値（小数点以下整理前）： 1 当初5.32㎡ 中間5.41㎡ 最終5.42㎡												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	枚方市	直接	枚方市	-	-	都市公園事業(東部公園)	6.8ha公園整備	枚方市						252	-	
	A12-002	公園	一般	枚方市	直接	枚方市	-	-	都市公園事業(星ヶ丘公園)	2.1ha公園整備	枚方市						462	-	
	A12-003	公園	一般	枚方市	直接	枚方市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	市内各公園1853施設における遊戯施設等の改築等	枚方市						152	-	
	A12-004	公園	一般	枚方市	直接	枚方市	-	-	ストック再生緑化事業(天満川緑道)	0.1ha緑道整備	枚方市						70	-	
											小計						936		
											合計						936		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	
配分額 (a)	127	44	29	10	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	127	44	29	10	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	15	
支払済額 (e)	127	31	14	25	
翌年度繰越額 (f)	0	13	15	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	15	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	51.72	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			年度末に補正があったため (R2実施)		